学校番号	3005

令和５年度　建築科

教科	工業	科目	建設技術	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	「建築実習２」（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

主要な建築材料である鋼材やコンクリートなどの加工や接合について体験を通して学びます。建築構造や建築施工でこれまでに学習した内容と関連させて理解を深めてください。
また、実習を通して責任感や倫理観、主体性や協調性など技術者として必要な資質を身につけましょう。

2　学習の到達目標

鉄筋コンクリート工事の一連の工程を理解し、小梁を設計・製作し強度試験をすることで各種構造の特性を理解する。同じく鋼材を主体として、椅子の設計、製作を行う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	建設技術に関する基礎的な知識と技術について関心をもち、その習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする創造的、実践的な態度を身につけている。	建設技術に関する基礎的な知識及び技術とともに実際の建築生産技術について考え、また諸問題を発見し、その解決をめざして自ら思考を深め、適切に判断できる。	各種工法、工事監理、積算など建築施工に関する基礎的な知識と技術を身につけ、建築生産技術の意義や役割が理解できている。また、実務的な技術や技能について人に分かるように伝えることができる。	実際の工事現場に関する基礎的な知識や技術を習得するとともに、創意工夫する能力を身につけている。
評価方法	学習状況の観察 ノート等の記述 発表・発言	学習状況の観察 定期考査 ノート等の記述 発表・発言	学習状況の観察 ノート等の記述 発表・発言	学習状況の観察 定期考査 レポートの記述 発表・発言

上に示す観点に基づいて学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４．学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	鉄筋コンクリート造	【コンクリートブロック工事及び鉄筋コンクリー造単純梁の製作】 ・型枠の加工、組立 ・コンクリート計量 ・鉄筋の加工、組立 ・コンクリート打設 ・養生 【鉄筋コンクリー造単純梁の強度試験】 ・破壊試験による、せん断・曲げ応力度の測定	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:建築材料の取扱いに関心をもっている。 b:鉄筋、型枠の加工精度を適切に判断できている。 c:実際の工事におけるシミュレーションを授業中に実施し、施工管理の安全性に対して合理的に考えることができる。 d:実習を通して建築施工の品質管理及び、安全かつ経済的に施工する知識を身につけている。	学習状況の観察 ノート等の記述 発表・発言 レポートの記述 定期考査
後期	鋼構造	【鉄筋とパンチングメタルを使用して椅子の製作】 ・CAD を使用して椅子のデザイン作り ・鉄筋の加工、組立 ・接合部の溶接 ・パンチングメタルの切削及び加工 ・鉄筋とパンチングメタルの製作	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	a:CAD製作によって実務における製作工程を理解している。 b:既存の椅子のデザインを追求して作製し、ものづくりについて理解している。 c:3年生の集大成として精度を考えて授業に臨んでいる。 d:自分の製作した物に対して設計から施工までプレゼンテーションができる。	学習状況の観察 ノート等の記述 発表・発言 レポートの記述 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解